

学校コード F147110111736

注3

設置年度 令和 3年度

計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更

注1

事前伺い

注2

琉球大学大学院 理工学研究科 工学専攻 (博士前期課程)

【認可】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人琉球大学
令和4年5月1日現在

作成担当者	
担当部局(課)名	総合企画戦略部経営戦略課
職名・氏名	係長 <small>クマモト シンヤ</small> 隈元 伸耶
電話番号	098-895-8105
(夜間)	098-895-8105
e-mail	kskikaku@acs.u-ryukyu.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

理工学研究科

＜工学専攻＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	13
4. 既設大学等の状況	14
5. 教員組織の状況	18
6. 附帯事項等に対する履行状況等	40
7. その他全般的事項	41

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 琉球大学

(2) 大学名

琉球大学大学院

(3) 調査対象大学等の位置

〒903-0213

沖縄県中頭郡西原町字千原1番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(ニシタ ムツミ) 西田 睦 (平成31年4月1日)		
研究科長	(ヤマザキ ヒデオ) 山崎 秀雄 (令和3年4月1日)	(ワダ トモヒサ) 和田 知久 (令和4年4月1日)	

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和3年度に報告済の内容 → (3)
令和4年度に報告する内容 → (4)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください(作成方法は、事務連絡「令和4年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」を確認してください)。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和4年度までの5年間)ですが、完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員		
理工学研究科 工学専攻 修士(工学)	工学関係	2 年	93 人	年次 人	186 人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	93人 () []	— (—) [—]	93人 () []	— (—) [—]	— (—) [—]	1.06倍	—倍
志願者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	101 (—) [10]	12 (—) [12]	101 (—) [9]	— (—) [—]	— (—) [—]		
受験者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	101 (—) [10]	12 (—) [12]	101 (—) [9]	— (—) [—]	— (—) [—]		
合格者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	96 (—) [10]	12 (—) [12]	99 (—) [9]	— (—) [—]	— (—) [—]		
B 入学者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	95 (—) [13]	12 (—) [12]	91 (—) [9]	— (—) [—]	— (—) [—]		
入学定員超過率 B/A							1.15		0.97				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	— [—] (—)	95 [13] (—)	12 [12] (—)	94 [11] (—)	12 [12] (—)						
2年次	/		— [—] (—)	— [—] (—)	86 [12] (—)	— [—] (—)					
3年次			/		/		— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)
4年次	/						/		— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)
計			— [—] (—)			107 [25] (—)	192 [35] (—)				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	107 人	6 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	6 人	2 人	除籍(3人)、学力不足(1人)、進路上的理由(1人)、その他(1人)
令和4年度	192 人	0 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
合計		6 人		6 人	2 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{6}{107} = \boxed{5.6} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{192} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<理工学研究科 工学専攻(博士前期課程)>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通領域科目	工学の倫理と社会実践	1前	2			6	2						
	工学特別研究 I	1前	1.5			31	31						
	工学特別研究 II	1後	1.5			31	31						
	工学特別研究 III	2前	1.5			31	31						
	工学特別研究 IV	2後	1.5			31	31						
	工学特別演習 I	1前	1.5			31	31						
	工学特別演習 II	1後	1.5			31	31						
	工学特別演習 III	2前	1.5			31	31						
	工学特別演習 IV	2後	1.5			31	31						
	国際インターンシップ I	1前		2		2	4						
	国際インターンシップ II	2前		2		2	4						
	インターンシップ I	1前		1		3	5		1				
	インターンシップ II	1後		1		3	5		1				
	インターンシップ III	1前		2		3	5		1				
	インターンシップ IV	1後		2		3	5		1				
小計(15科目)	-		14	10	0	31	33	0	1	0			
プログラム専門領域科目	材料工学	1前	2			1							
	材料力学特論	1前	2			1							
	塑性力学特論	1前	2				1						
	固体力学特論	1前	2				1						
	弾性力学特論	1後	2			1							
	腐食防食特論	1後	2			1							
	材料加工学特論	1後	2				1						
	機械基礎工学特論 I	1前	2				1						
	機械基礎工学特論 II	1後	2				1						
	小計(8科目)	-		0	16	0	3	4	0	0	0		
	熱流体工学	1前	2			1							
	熱工学特論 I	1後	2			1							
熱工学特論 II	1前	2				1							
移動現象特論	1前	2						1					
流体力学特論 I	1前	2			1								
流体力学特論 II	1前	2				1							
乱流計測学特論	1後	2				1							
伝熱工学特論 I	1後	2				1							
伝熱工学特論 II	1後	2				1							
流体機械学特論	1後	2				1							
多相成分系の物理化学	1後	2						1					
機械基礎工学特論 I	1前	2				1							
機械基礎工学特論 II	1後	2				1							
小計(12科目)	-		0	24	0	3	4	0	2	0			
知能機械システム	1前	2			1								
ソフト制御工学特論	1前	2			1								
自己組織系特論	1前	2			1								
制御数理特論	1前	2			1								
機械信号処理工学特論	1後	2				1							
知的制御工学特論	1後	2				1							
機械基礎工学特論 I	1前	2				1							
機械基礎工学特論 II	1後	2				1							
小計(7科目)	-		0	14	0	2	4	0	0	0			
電気エネルギー変換工学	1前	2							1				
電力エネルギー変換工学特論	1前	2							1				
電気機器工学特論	1前	2			1								
磁気物性工学特論	1前	2				1							
医用電子工学特論	1前	2			1								
相対論的電磁気学特論	1前	2						1					
電力システム解析特論	1後	2				1							
パワーエレクトロニクス特論	1後	2			1								
プラズマ工学特論	1後	2			1								
非線形制御特論	1後	2				1							
現代制御特論	1後	2				1							
小計(10科目)	-		0	20	0	4	4	0	2	0			
電子システム・デバイスプログラム	薄膜材料工学特論	1前	2			1							
	量子計算機工学特論	1前	2				1						
	VLSIシステム設計特論	1前	2				1						
	光デバイス計測工学特論	1前	2						1				
	ディンダブルシステム特論	1前	2			1							
	無線通信システム特論	1前	2				1						
	画像処理工学特論	1前	2				1						
	情報通信論	1前	2						1				
	半導体工学特論	1後	2			1							
	真空工学特論	2後	2							1			
	有機エレクトロニクス材料工学特論	1後	2				1						
	信号処理システム特論	1後	2			1							
	再構成型アーキテクチャ特論	1後	2							1			
小計(13科目)	-		0	26	0	4	5	0	3	0		兼1	

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通領域科目	工学の倫理と社会実践	1前	2										
	工学特別研究 I	1前	1.5						8	1			
	工学特別研究 II	1後	1.5						32	32			1
	工学特別研究 III	2前	1.5						32	32			1
	工学特別研究 IV	2後	1.5						32	32			1
	工学特別演習 I	1前	1.5						32	32			1
	工学特別演習 II	1後	1.5						32	32			1
	工学特別演習 III	2前	1.5						32	32			1
	工学特別演習 IV	2後	1.5						32	32			1
	国際インターンシップ I	1前		2					3	3			
	国際インターンシップ II	2前		2					0	1			
	インターンシップ I	1前		1					1	5		1	
	インターンシップ II	1後		1					1	5		1	
	インターンシップ III	1前		2					1	4		2	
	インターンシップ IV	1後		2					1	4		2	
小計(15科目)	-		14	10	0			32	32	0	2	0	1
プログラム専門領域科目	材料工学	1前	2						0				
	材料力学特論(未開講)	1前	2										
	塑性力学特論	1前	2						1				
	固体力学特論	1前	2						1				
	弾性力学特論	1後	2						1				
	腐食防食特論	1後	2						1				
	材料加工学特論	1後	2							1			
	機械基礎工学特論 I	1前	2							1			
	機械基礎工学特論 II	1後	2							1			
	小計(8科目)	-		0	16	0			2	4	0	0	0
	熱流体工学	1前	2							1			
	熱工学特論 I	1後	2							1			
熱工学特論 II	1前	2								1			
移動現象特論	1前	2								1			
流体力学特論 I	1前	2							1				
流体力学特論 II	1前	2								1			
乱流計測学特論	1前	2								1			
伝熱工学特論 I	1後	2								1			
伝熱工学特論 II	1後	2								1			
流体機械学特論	1後	2								1			
多相成分系の物理化学	1後	2									1		
機械基礎工学特論 I	1前	2								1			
機械基礎工学特論 II	1後	2								1			
小計(12科目)	-		0	24	0	3	7	0	1	0			
知能機械システム	1前	2							1				
ソフト制御工学特論	1前	2							1				
自己組織系特論	1前	2							1				
制御数理特論	1前	2								1			
機械信号処理工学特論	1後	2								1			
知的制御工学特論	1後	2								1			
機械基礎工学特論 I	1前	2								1			
機械基礎工学特論 II	1後	2								1			
小計(7科目)	-		0	14	0	2	4	0	0	0			
電気エネルギー変換工学	1前	2									1		
電力エネルギー変換工学特論	1前	2									1		
電気機器工学特論	1前	2								1			
磁気物性工学特論	1前	2									1		
医用電子工学特論	1前	2									1		
相対論的電磁気学特論	1前	2										1	
電力システム解析特論	1後	2										1	
パワーエレクトロニクス特論	1後	2									1		
プラズマ工学特論	1後	2										1	
非線形制御特論	1後	2										1	

科目区分	授業科目の名称	配当	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
社会基盤デザイン	鋼構造物設計工学特論	1前	2		1						
	連続体力学特論	1前	2		1						
	流体数値解析特論	1前	2					1			
	地盤環境工学特論	1前	2			1					
	地域計画特論	1前	2		1						
	環境防災計画学特論	1前	2		1						
	鋼構造物診断工学特論	1後	2						1		
	コンクリートの材料科学特論	1後	2						1		
	河川工学特論	1後	2			1					
	岩盤力学特論	1後	2		1						
数値計算力学特論	2前	2		1							
小計(11科目)	-	0	22	0	5	3	0	3	0		
建築学プログラム	建築設計技術者倫理	1前	2			1					
	建築設計意匠特論	1前	2			1					
	都市計画特論	1前	2			1					
	構造解析学特論	1前	2			1					
	防災設計特論	1前	2		1						
	コミュニティ空間計画特論	1後	2		1						
	環境騒音特論	1後	2			1					
	建設材料学特論	1後	2		1						
	建設データマイニング特論	1後	2		1						
	建築設計スタジオ I	1前	2			1					
	建築設計スタジオ II	1後	2			1					
	建築設備設計実務演習	1前	2			1					
	建築構造設計実務演習 I	1前	2		1						
	建築構造設計実務演習 II	1後	2			1					
	建築設計実務演習 I	1前	2			1					
	建築設計実務演習 II	1後	2			1					
建築設計実務演習 III	2前	2			1						
建築法令制度実務特論	1後	2			1						
建築材料計画実務特論	1後	2		1							
建築構造設計実務特論	1後	2			1						
小計(20科目)	-	2	38	0	3	5	0	0	0		
知能情報プログラム	ソフトウェア工学特論	1前	2			1					
	確率モデル特論	1前	2		1						
	人工知能特論	1前	2		1						
	知能ロボット特論	1前	2		1						
	知能情報処理特論	1前	2			1					
	生体情報処理特論	1前	2					1			
	プロジェクトマネジメント演習	1前	2		1						
	実践演習 I	1前	2		1						
	実践演習 II	1後	2		1						
	実践演習 III	2前	2		1						
	ワイヤレスシステム特論	1後	2		1						
	アルゴリズム特論	1後	2		1						
	情報ネットワーク特論	1後	2			1					
	データマイニング特論	1後	2			1					
	マルチメディア情報処理特論	1後	2			1					
	UI/UX特論	1後	2			1					
人工社会システム特論	2前	2		1							
人間拡張工学特論	2前	2		1							
サービス工学特論	2前	2		1							
並列処理特論	2後	2		1							
小計(20科目)	-	0	40	0	5	6	0	1	0		
合計(116科目)	-	16	210	0	31	34	0	11	0	兼1	

卒業要件及び履修方法

【修了要件】
 研究科に2年（優れた業績を上げた者は1年）以上在学し、必修科目14単位、選択科目16単位以上の30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査及び最終試験に合格すること。

【履修方法】
 共通領域科目から、必修科目を14単位修得すること。
 選択科目16単位以上のうち、各プログラムの専門領域科目及び各プログラムが指定する関連科目を合わせて10単位以上修得すること（※1「工業の倫理と社会実践」は建築学プログラムにおいては「建築設計技術者倫理」に読み替えることができる。※2機械工学系3プログラムの選択科目には「機械系基礎科目」を含むこと）。

科目区分	授業科目の名称	配当	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
社会基盤デザイン	鋼構造物設計工学特論	1前	2		1						
	連続体力学特論	1前	2		1						
	流体数値解析特論	1前	2					1			
	地盤環境工学特論	1前	2			1					
	地域計画特論	1前	2		1						
	環境防災計画学特論	1前	2		1						
	鋼構造物診断工学特論	1後	2						1		
	コンクリートの材料科学特論	1後	2						1		
	河川工学特論	1後	2			1					
	岩盤力学特論	1後	2		1						
数値計算力学特論	2前	2		1							
小計(11科目)	-	0	22	0	5	5	0	1	0		
建築学プログラム	建築設計技術者倫理	1前	2			5	3		2		
	建築設計意匠特論	1前	2			1					
	都市計画特論	1前	2			1					
	構造解析学特論	1前	2			1					
	防災設計特論	1前	2		1						
	コミュニティ空間計画特論	1後	2		1						
	環境騒音特論	1後	2			1					
	建設材料学特論	1後	2		1						
	建設データマイニング特論	1後	2		1						
	建築設計スタジオ I	1前	2			1					
	建築設計スタジオ II	1後	2			1					
	建築設備設計実務演習	1前	2			1					
	建築構造設計実務演習 I	1前	2		1						
	建築構造設計実務演習 II	1後	2			1					
	建築設計実務演習 I	1前	2			1					
	建築設計実務演習 II	1後	2			1					
建築設計実務演習 III	2前	2			1						
建築法令制度実務特論	1後	2			1						
建築材料計画実務特論	1後	2		1							
建築構造設計実務特論	1後	2			1						
小計(20科目)	-	2	38	0	5	3	0	2	0		
知能情報プログラム	ソフトウェア工学特論	1前	2			1					
	確率モデル特論(未開講)	1・2前	2								
	人工知能特論	1・2前	2		1						
	知能ロボット特論(未開講)	1・2前	2								
	知能情報処理特論	1前	2			1					
	生体情報処理特論	1後	2					1			
	プロジェクトマネジメント演習	1前	2		1						
	実践演習 I	1前	2		1						
	実践演習 II	1後	2		1						
	実践演習 III	2前	2		1						
	ワイヤレスシステム特論	1前	2		1						
	アルゴリズム特論(未開講)	1・2後	2								
	情報ネットワーク特論(未開講)	1後	2								
	データマイニング特論	1後	2					1			
	マルチメディア情報処理特論	1後	2					1			
	UI/UX特論	1後	2					1			
人工社会システム特論(未開講)	1・2前	2									
人間拡張工学特論	1・2前	2					1				
サービス工学特論	1・2前	2					1				
並列処理特論	1・2後	2					1				
小計(20科目)	-	0	40	0	6	6	0	0	0		
合計(116科目)	-	16	210	0	32	37	0	8	0	兼2	

卒業要件及び履修方法

【修了要件】
 研究科に2年（優れた業績を上げた者は1年）以上在学し、必修科目14単位、選択科目16単位以上の30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査及び最終試験に合格すること。

【履修方法】
 共通領域科目から、必修科目を14単位修得すること。
 選択科目16単位以上のうち、各プログラムの専門領域科目及び各プログラムが指定する関連科目を合わせて10単位以上修得すること（※1「工業の倫理と社会実践」は建築学プログラムにおいては「建築設計技術者倫理」に読み替えることができる。※2機械工学系3プログラムの選択科目には「機械系基礎科目」を含むこと）。

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通領域科目	工学の倫理と社会実践	1前	2			9	1					
	工学特別研究 I	1前	1.5			31	31					
	工学特別研究 II	1後	1.5			31	31					
	工学特別研究 III	2前	1.5			31	31					
	工学特別研究 IV	2後	1.5			31	31					
	工学特別演習 I	1前	1.5			31	31					
	工学特別演習 II	1後	1.5			31	31					
	工学特別演習 III	2前	1.5			31	31					
	工学特別演習 IV	2後	1.5			31	31					
	国際インターンシップ I	1前		2		2	3					
	国際インターンシップ II	2前		2		2	3					
	インターンシップ I	1前		1		3	4					
	インターンシップ II	1後		1		3	4					
	インターンシップ III	1前		2		3	4					
	インターンシップ IV	1後		2		3	4					
小計(15科目)	-		14	10	0	31	32	0	0	0		
プログラム専門領域科目	材料物質工学プログラム	1前	2			1						
	塑性力学特論	1前	2				1					
	固体力学特論	1前	2				1					
	弾性力学特論	1後	2			1						
	腐食防食特論	1後	2			1						
	材料加工学特論	1後	2				1					
	機械基礎工学特論 I	1前	2				1					
	機械基礎工学特論 II	1後	2				1					
	小計(8科目)	-		0	16	0	3	4	0	0	0	
	熱流体工学プログラム	1前	2			1						
	熱工学特論 II	1後	2			1						
	移動現象特論	1前	2						1			
	流体力学特論 I	1前	2			1						
	流体力学特論 II	2後	2				1					
	乱流計測学特論	1前	2				1					
伝熱工学特論 I	1前	2				1						
伝熱工学特論 II	1後	2				1						
流体機械学特論	1後	2				1						
多相多成分系の物理化学	1後	2						1				
機械基礎工学特論 I	1前	2				1						
機械基礎工学特論 II	1後	2				1						
小計(12科目)	-		0	24	0	3	4	0	2	0		
知能機械システムプログラム	1前	2			1							
ソフト制御工学特論	1前	2			1							
自己組織系特論	1前	2			1							
制御数理特論	1前	2				1						
機械信号処理工学特論	1後	2				1						
知的制御工学特論	1後	2				1						
機械基礎工学特論 I	1前	2				1						
機械基礎工学特論 II	1後	2				1						
小計(7科目)	-		0	14	0	2	4	0	0	0		
電気エネルギーシステム制御プログラム	1前	2						1				
電力エネルギー変換工学特論	1前	2						1				
電気機器工学特論	1前	2			1							
磁気物性工学特論	1前	2				1						
医用電子工学特論	1前	2			1							
相対論的電磁気学特論	1前	2						1				
電力システム解析特論	1後	2					1					
パワーエレクトロニクス特論	1後	2			1							
プラズマ工学特論	1後	2			1							
非線形制御特論	1後	2				1						
現代制御特論	1後	2				1						
小計(10科目)	-		0	20	0	4	4	0	2	0		
電子システム・デバイスプログラム	1前	2			1							
薄膜材料工学特論	1前	2				1						
量子計算機工学特論	1前	2				1						
VLSIシステム設計特論	1前	2				1						
光デバイス計測工学特論	1前	2						1				
ディベンダブルシステム特論	1前	2			1							
無線通信システム特論	1前	2				1						
画像処理工学特論	1前	2				1						
情報通信論	1前	2				1						
半導体工学特論	1後	2			1							
真空工学特論	1後	2						1				
有機エレクトロニクス材料工学特論	1後	2				1						
信号処理システム特論	1後	2			1							
再構成型アーキテクチャ特論	1後	2						1				
小計(13科目)	-		0	26	0	4	5	0	3	0	兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
社会基盤デザインプログラム	鋼構造物設計工学特論	1前	2			1						
	連続体力学特論	1前	2			1						
	流体数値解析特論	1前	2						1			
	地盤環境工学特論	1前	2				1					
	地域計画特論	1前	2			1						
	環境防災計画学特論	1前	2				1					
	鋼構造物診断工学特論	1後	2				1					
	コンクリートの材料科学特論	1後	2				1					
	河川工学特論	1後	2				1					
	岩盤力学特論	1後	2			1						
	数値計算力学特論	2前	2			1						
小計(11科目)	-	0	22	0	5	5	0	1	0			
建築学プログラム	建築設計技術者倫理	1前	2			1						
	建築設計意匠特論	1前	2				1					
	都市計画特論	1前	2				1					
	構造解析学特論	1前	2			1						
	防災設計特論	1前	2			1						
	コミュニティ空間計画特論	1後	2			1						
	環境騒音特論	1後	2				1					
	建設材料学特論	1後	2			1						
	建設データマイニング特論	1後	2				1					
	建築設計スタジオⅠ	1前	2				1					
	建築設計スタジオⅡ	1後	2				1					
	建築設備設計実務演習	1前	2				1					
	建築構造設計実務演習Ⅰ	1前	2			1						
	建築構造設計実務演習Ⅱ	1後	2			1						
	建築設計実務演習Ⅰ	1前	2				1					
	建築設計実務演習Ⅱ	1後	2				1					
	建築設計実務演習Ⅲ	2前	2				1					
建築法令制度実務特論	1後	2				1						
建築材料計画実務特論	1後	2			1							
建築構造設計実務特論	1後	2			1							
小計(20科目)	-	2	38	0	4	4	0	0	0			
知能情報プログラム	ソフトウェア工学特論	1前	2				1					
	確率モデル特論	1・2前	2			1						
	人工知能特論	1・2前	2			1						
	知能ロボット特論	1・2前	2			1						
	知能情報処理特論	1前	2				1					
	生体情報処理特論	1後	2						1			
	プロジェクトマネジメント演習	1前	2			1						
	実践演習Ⅰ	1前	2			1						
	実践演習Ⅱ	1後	2			1						
	実践演習Ⅲ	2前	2			1						
	ワイヤレスシステム特論	1前	2			1						
	アルゴリズム特論	1・2後	2			1						
	情報ネットワーク特論	1後	2				1					
	データマイニング特論	1後	2				1					
	マルチメディア情報処理特論	1後	2				1					
	UI/UX特論	1後	2				1					
人工社会システム特論	1・2前	2			1							
人間拡張工学特論	1・2前	2			1							
サービス工学特論	1・2前	2			1							
並列処理特論	1・2後	2			1							
小計(20科目)	-	0	40	0	5	6	0	1	0			
合計(116科目)	-	16	210	0	31	38	0	9	0	兼1		

卒業要件及び履修方法

【修了要件】
 研究科に2年（優れた業績を上げた者は2年）以上在学し、必修科目14単位、選択科目16単位以上の30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査及び最終試験に合格すること。

【履修方法】
 共通領域科目から、必修科目を14単位修得すること。
 選択科目16単位以上のうち、各プログラムの専門領域科目及び各プログラムが指定する関連科目を合わせて10単位以上修得すること（※1「工業の倫理と社会実践」は建築学プログラムにおいては「建築設計技術者倫理」に読み替えることができる。※2機械工学系3プログラムの選択科目には「機械系基礎科目」を含むこと）。

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任・兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。
 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和3年度】

・教員間での担当計画変更のため、以下の科目の専任教員の配置を変更。
工学の倫理と社会実践…「教授6」から「教授9」に変更、「准教授2」から「准教授1」に変更。
国際インターンシップⅠ…「准教授4」から「准教授3」に変更。
国際インターンシップⅡ…「准教授4」から「准教授3」に変更。
インターンシップⅠ…「准教授5」から「准教授4」に変更。
インターンシップⅡ…「准教授5」から「准教授4」に変更。
インターンシップⅢ…「准教授5」から「准教授4」に変更。
インターンシップⅣ…「准教授5」から「准教授4」に変更。
建築設計技術者倫理…「准教授1」から「教授1」に変更。

・教員の昇任に伴う職名の変更により、以下の科目の専任教員の配置を変更。
鋼構造物診断工学特論…「助教1」から「准教授1」に変更。
コンクリートの材料科学特論…「助教1」から「准教授1」に変更。
構造解析学特論…「准教授1」から「教授1」に変更。
建築構造設計実務演習Ⅱ…「准教授1」から「教授1」に変更。
建築構造設計実務特論…「准教授1」から「教授1」に変更。

・教育効果を高めるため、以下の科目の配当年次を変更。
流体力学特論Ⅱの配当年次を「1後」から「2後」に変更。(熱流体工学プログラム)
伝熱工学特論Ⅰの配当年次を「1後」から「1前」に変更。(熱流体工学プログラム)
確率モデル特論の配当年次を「1前」から「1・2前」に変更。(知能情報プログラム)
人工知能特論の配当年次を「1前」から「1・2前」に変更。(知能情報プログラム)
知能ロボット特論の配当年次を「1前」から「1・2前」に変更。(知能情報プログラム)
生体情報処理特論の配当年次を「1前」から「1後」に変更。(知能情報プログラム)
ワイヤレスシステム特論の配当年次を「1後」から「1前」に変更。(知能情報プログラム)
アルゴリズム特論の配当年次を「1後」から「1・2後」に変更。(知能情報プログラム)
人工社会システム特論の配当年次を「2前」から「1・2前」に変更。(知能情報プログラム)
人間拡張工学特論の配当年次を「2前」から「1・2前」に変更。(知能情報プログラム)
サービス工学特論の配当年次を「2前」から「1・2前」に変更。(知能情報プログラム)
並列処理特論の配当年次を「2後」から「1・2後」に変更。(知能情報プログラム)

【令和4年度】

・教員間での担当計画変更のため、以下の科目の専任教員の配置を変更。
工学の倫理と社会実践…「教授6」から「教授9」に変更、「准教授2」から「准教授1」に変更。
国際インターンシップⅠ…「教授3」から「教授3」に変更、「准教授4」から「准教授3」に変更。
インターンシップⅠ…「教授3」から「教授1」に変更。
インターンシップⅡ…「教授3」から「教授1」に変更。
インターンシップⅢ…「教授3」から「教授1」に変更、「准教授5」から「准教授4」に変更、「助教1」から「助教2」に変更。
インターンシップⅣ…「教授3」から「教授1」に変更、「准教授5」から「准教授4」に変更、「助教1」から「助教2」に変更。

・教員の昇任に伴う職名の変更により、以下の科目の専任教員の配置を変更。
工学特別研究Ⅰ…「教授31」から「教授32」に変更、「准教授31」から「准教授32」に変更、「兼任1」追加。
工学特別研究Ⅱ…「教授31」から「教授32」に変更、「准教授31」から「准教授32」に変更、「兼任1」追加。
工学特別研究Ⅲ…「教授31」から「教授32」に変更、「准教授31」から「准教授32」に変更、「兼任1」追加。
工学特別研究Ⅳ…「教授31」から「教授32」に変更、「准教授31」から「准教授32」に変更、「兼任1」追加。
工学特別演習Ⅰ…「教授31」から「教授32」に変更、「准教授31」から「准教授32」に変更、「兼任1」追加。
工学特別演習Ⅱ…「教授31」から「教授32」に変更、「准教授31」から「准教授32」に変更、「兼任1」追加。
工学特別演習Ⅲ…「教授31」から「教授32」に変更、「准教授31」から「准教授32」に変更、「兼任1」追加。
工学特別演習Ⅳ…「教授31」から「教授32」に変更、「准教授31」から「准教授32」に変更、「兼任1」追加。
移動現象特論…「助教1」から「准教授1」に変更。
都市計画特論…「准教授1」から「教授1」に変更。
構造解析学特論…「准教授1」から「教授1」に変更。
鋼構造物診断工学特論…「助教1」から「准教授1」に変更。
コンクリートの材料科学特論…「助教1」から「准教授1」に変更。
建築構造設計実務演習Ⅱ…「准教授1」から「教授1」に変更。
建築法令制度実務特論…「准教授1」から「教授1」に変更。
建築構造設計実務特論…「准教授1」から「教授1」に変更。
生体情報処理特論…「助教1」から「准教授1」に変更。

・教育効果を高めるため、以下の科目の専任教員の配置を変更。
建築設計技術者倫理…「准教授1」から「教授5」に変更、「准教授3」を追加、「助教2」を追加。

・コロナ禍で国際派遣が滞っていたため、以下の科目の専任教員の配置を変更。
国際インターンシップⅡ…「教授2」から「教授0」に変更、「准教授4」から「准教授1」に変更。

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
10 科目	106 科目	0 科目	116 科目	10 科目 []	106 科目 []	0 科目 []	116 科目 []	変更なし

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	材料力学特論	2	1前	専門	選択	担当教員定年退職により未開講。現在、後任者を公募中である。採用次第開講予定。
2	確率モデル特論	2	1・2前	専門	選択	隔年開講科目であり、今年度未開講のため
3	知能ロボット特論	2	1・2前	専門	選択	隔年開講科目であり、今年度未開講のため
4	アルゴリズム特論	2	1・2後	専門	選択	隔年開講科目であり、今年度未開講のため
5	情報ネットワーク特論	2	1後	専門	選択	担当教員逝去により未開講。現在、後任者を公募中であり、採用次第開講予定。
6	人工社会システム特論	2	1・2前	専門	選択	隔年開講科目であり、今年度未開講のため

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講科目は全て選択科目で6科目である。このうち4科目は、隔年開講科目なので次年度に履修可能である。また、2科目は、教員の退職等により一時的に未開講となっている科目であり、後任教員が採用され次第開講予定であり、学生の履修への影響は少ないと考える。学生へは、大学院新入生オリエンテーション、シラバスで周知しており、現在のところ問い合わせ等は発生していない。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{6}{116} = \boxed{5.17}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体			
	校舎敷地	535,870 m ²	0 m ²	0 m ²	535,870 m ²				
	運動場用地	93,280 m ²	0 m ²	0 m ²	93,280 m ²				
	小 計	629,150 m ²	0 m ²	0 m ²	629,150 m ²				
	そ の 他	6,165,932 m ²	0 m ²	0 m ²	6,165,932 m ²				
	合 計	6,795,082 m ²	0 m ²	0 m ²	6,795,082 m ²				
(2) 校舎	専 用	171,860 m ²	0 m ²	0 m ²	171,860 m ²	大学全体			
	(171,860 m ²)	(0 m ²)	(0 m ²)	(171,860 m ²)					
(3) 教室等	講義室		演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 用途変更(4)		
	130 室 128 室	187 室 170 室	626 室 672 室	30 室 28 室 (補助職員 0人)	9 室 7 室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		用途変更(4)			
	大学全体			676 653 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種		視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学部単位で特定不能なため、大学全体の数	
			電子ジャーナル 〔うち外国書〕						
	大学全体	964,625 [295,523] 971,079 [300,401] 964,625 [295,523] 971,079 [300,401]	54,102 [39,729] 52,953 [38,388] 54,102 [39,729] 52,953 [38,388]	32,409 [32,405] 30,979 [30,975] 32,409 [32,405] 30,979 [30,975]	8,019 7,950 8,019 7,950	2,340 (2,340)	280 (280)		
		964,625 [295,523] 971,079 [300,401] 964,625 [295,523] 971,079 [300,401]	54,102 [39,729] 52,953 [38,388] 54,102 [39,729] 52,953 [38,388]	32,409 [32,405] 30,979 [30,975] 32,409 [32,405] 30,979 [30,975]	8,019 7,950 8,019 7,950	2,340 (2,340)	280 (280)		
		964,625 [295,523] 971,079 [300,401] 964,625 [295,523] 971,079 [300,401]	54,102 [39,729] 52,953 [38,388] 54,102 [39,729] 52,953 [38,388]	32,409 [32,405] 30,979 [30,975] 32,409 [32,405] 30,979 [30,975]	8,019 7,950 8,019 7,950	2,340 (2,340)	280 (280)		
計	964,625 [295,523] 971,079 [300,401] 964,625 [295,523] 971,079 [300,401]	54,102 [39,729] 52,953 [38,388] 54,102 [39,729] 52,953 [38,388]	32,409 [32,405] 30,979 [30,975] 32,409 [32,405] 30,979 [30,975]	8,019 7,950 8,019 7,950	2,340 (2,340)	280 (280)			
(6) 図書館	面 積		閲覧座席数		収納可能冊数		大学全体		
	11,370 m ²		1,028 席		1,168,910 1,164,886 冊				
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要			大学全体			
	5,473 m ²		野球場1面 テニスコート10面						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費による
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和4年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(4)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	琉球大学					学生募集停止学科数	13	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
【学部】											
法文学部											
総合社会システム学科(昼間主コース)	4	-	-	-	学士 (法学、経済学、政策科学・国際関係論)	-	-	-	平成9	沖縄県中頭郡西原町字千原1番地	平成30年学生募集停止
総合社会システム学科(夜間主コース)	4	-	-	-	学士 (法学、経済学、政策科学・国際関係論)	-	-	-	平成9	同上	平成30年学生募集停止
人間科学科	4	-	-	-	学士 (人文社会)	-	-	-	平成9	同上	平成30年学生募集停止
国際言語文化学科(昼間主コース)	4	-	-	-	学士 (人文学)	-	-	-	平成9	同上	平成30年学生募集停止
国際言語文化学科(夜間主コース)	4	-	-	-	学士 (人文学)	-	-	-	平成9	同上	平成30年学生募集停止
人文社会学部											
国際法政学科	4	80	3年次4	328	学士 (法学、政策科学・国際関係論)	1.02	1.00	-	平成30	沖縄県中頭郡西原町字千原1番地	
人間社会学科	4	80	3年次4	328	学士 (人文社会)	1.02	1.03	-	平成30	同上	
琉球アジア文化学科	4	40	3年次2	164	学士 (人文社会)	1.02	1.02	-	平成30	同上	
観光産業科学部											
観光科学科	4	-	-	-	学士 (観光学)	-	-	-	平成20	同上	平成30年学生募集停止
産業経営学科(昼間主コース)	4	-	-	-	学士 (経営学)	-	-	-	平成20	同上	平成30年学生募集停止
産業経営学科(夜間主コース)	4	-	-	-	学士 (経営学)	-	-	-	平成20	同上	平成30年学生募集停止
国際地域創造学部											
国際地域創造学科(昼間主コース)	4	265	3年次8	1076	学士 (観光学、経営学、経済学、人文学)	1.01	1.02	-	平成30	同上	
国際地域創造学科(夜間主コース)	4	80	3年次12	344	学士 (経営学、人文学)	1.02	1.03	-	平成30	同上	
教育学部											
学校教育教員養成課程	4	140	-	560	学士 (教育学)	1.01	1.00	-	平成11	同上	
生涯教育課程	4	-	-	-	学士 (教育学)	-	-	-	平成11	同上	平成29年学生募集停止
理学部											
数理科学科	4	40	-	160	学士 (理学)	1.01	1.00	-	平成8	同上	
物質地球科学科	4	65	-	260	学士 (理学)	1.05	1.00	-	平成8	同上	
海洋自然科学科	4	95	-	380	学士 (理学)	1.02	1.01	-	平成8	同上	

大学の名称	琉球大学						学生募集停止学科数	13	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
【学部】	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
医学部											
医学科	6	112	2年次5	697	学士(医学)	1.00	1.00	令和4	昭和54	沖縄県中頭郡西原町字上原207番地	定員変更(12)
保健学科	4	60	-	240	学士(保健学)	1.00	1.00	-	昭和56	同上	
工学部											
機械システム工学科(昼間主コース)	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	平成5	沖縄県中頭郡西原町字千原1番地	平成29年学生募集停止
環境建設工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	平成5	同上	平成29年学生募集停止
電気電子工学科(昼間主コース)	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	平成5	同上	平成29年学生募集停止
電気電子工学科(夜間主コース)	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	平成5	同上	平成29年学生募集停止
工学科	4	350	3年次20	1440	学士(工学)	1.01	1.00	-	平成29	同上	
農学部											
亜熱帯地域農学科	4	35	-	140	学士(農学)	1.03	1.00	-	平成21	同上	
亜熱帯農林環境科学科	4	35	-	140	学士(農学)	1.04	1.02	-	平成21	同上	
地域農業工学科	4	25	-	100	学士(農学)	1.02	1.08	-	平成21	同上	
亜熱帯生物資源科学科	4	45	3年次5	190	学士(農学)	1.02	1.06	-	平成21	同上	
大学全体	4・6	1547	60	6547	-	1.01	1.01	-	-	-	

大学の名称	琉球大学大学院					学生募集停止学科数	10	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	6	備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
【大学院】											
人文社会科学研究科											
〈博士前期課程〉											
総合社会システム専攻	2	-	-	17	修士 (法学、政治学、経済学、経営学、社会学、教育学、心理学、哲学、文学、歴史)	-	-	-	平成13	同上	令和4年学生募集停止
人間科学専攻	2	-	-	16		-	-	-	平成13	同上	令和4年学生募集停止
国際言語文化専攻	2	-	-	12		-	-	-	平成13	同上	令和4年学生募集停止
〈博士後期課程〉											
比較地域文化専攻	3	4	-	12	博士 (学術)	0.58	0.50	-	平成18	同上	
観光科学研究科											
〈修士課程〉											
観光科学専攻	2	-	-	6	修士 (観光学)	-	-	-	平成18	同上	令和4年学生募集停止
地域共創研究科											
〈修士課程〉											
地域共創専攻	2	35	-	35	修士 (公共社会、経済経営、言語表意、文化・環境、臨床心理)	1.09	1.09	-	令和4	同上	
教育学研究科											
〈修士課程〉											
学校教育専攻	2	-	-	-	修士 (教育学)	-	-	-	平成2	同上	令和2年学生募集停止
教科教育専攻	2	-	-	-		-	-	平成31	平成2	同上	令和2年学生募集停止
〈専門職学位課程〉											
高度教職実践専攻	2	20	-	40	教職 修士 (専門職)	1.03	1.00	-	平成28	同上	
医学研究科											
〈修士課程〉											
医科学専攻	2	15	-	30	修士 (医科学)	0.54	0.40	-	平成16	沖縄県中頭郡西原町字上原207番地	
〈博士課程〉											
医学専攻	4	30	-	120	博士 (医学)	0.81	0.70	-	平成26	同上	
保健学研究科											
〈博士前期課程〉											
保健学専攻	2	10	-	20	修士 (保健学)	0.40	0.70	-	昭和61	同上	
〈博士後期課程〉											
保健学専攻	3	3	-	9	博士 (保健学)	1.33	2.00	-	平成19	同上	

大学の名称	琉球大学大学院					学生募集停止学科数	10	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	6	備考		
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地		
理工学研究科												
〈博士前期課程〉												
機械システム工学専攻	2	-	-	-		-	-	-	平成9	沖縄県中頭郡西原町字千原1番地	令和3年学生募集停止	
環境建設工学専攻	2	-	-	-		-	-	-	平成9		同上	令和3年学生募集停止
電気電子工学専攻	2	-	-	-		-	-	-	平成9		同上	令和3年学生募集停止
情報工学専攻	2	-	-	-	修士 (理学、工学)	-	-	-	平成9		同上	令和3年学生募集停止
数理学専攻	2	10	-	20		1.35	0.80	-	平成10		同上	
物質地球科学専攻	2	16	-	32		0.97	0.69	-	平成10		同上	
海洋自然科学専攻	2	26	-	52		1.31	1.38	-	平成10		同上	
工学専攻	2	93	-	186		1.04	1.06	-	令和3	同上		
〈博士後期課程〉												
生産エネルギー工学専攻	3	4	-	12		1.42	2.00	-	平成9	同上		
総合知能工学専攻	3	3	-	9	博士 (理学、工学、学術)	2.89	3.00	-	平成9	同上		
海洋環境学専攻	3	5	-	15		1.93	2.20	-	平成10	同上		
農学研究科												
〈修士課程〉												
亜熱帯農学専攻	2	35	-	70	修士 (農学)	0.49	0.94	-	平成23	同上		
法務研究科												
〈専門職学位課程〉												
法務専攻	3	16	-	48	法務博士 (専門職)	0.87	0.94	-	平成16	同上		
大学院全体	2・3・4	325	-	761	-	0.89	1.02	-	-	-		

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学、大学院、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください(専攻科及び別科を除く)。
・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず、履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<理工学研究科 工学専攻（博士前期課程）>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和3年度】

【令和4年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	真壁朝敏 (64) <令和3年4月> 工学博士
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ 材料力学特論
専	教授	宮崎達二郎 (46) <令和3年4月> 博士(工学)
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ 弾性力学特論
専	教授	押川 渡 (55) <令和3年4月> 博士(工学)
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ 腐食防食特論
専	教授	野底武浩 (62) <令和3年4月> 工学博士
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ 熱工学特論Ⅰ
専	教授	瀬名波 出 (53) <令和3年4月> 博士(工学)
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ 国際インターンシップⅠ 熱工学特論Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	真壁朝敏 (64) <令和3年4月> 工学博士
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ 材料力学特論
専	教授	宮崎達二郎 (46) <令和3年4月> 博士(工学)
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ 弾性力学特論
専	教授	押川 渡 (55) <令和3年4月> 博士(工学)
		工学の倫理と社会実践 工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ 腐食防食特論
専	教授	野底武浩 (62) <令和3年4月> 工学博士
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ 熱工学特論Ⅰ
専	教授	瀬名波 出 (53) <令和3年4月> 博士(工学)
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ 国際インターンシップⅠ 熱工学特論Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	宮崎達二郎 (47) <令和3年4月> 博士(工学)
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ 弾性力学特論
専	教授	押川 渡 (56) <令和3年4月> 博士(工学)
		工学の倫理と社会実践 工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ 腐食防食特論
専	教授	野底武浩 (63) <令和3年4月> 工学博士
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ 熱工学特論Ⅰ
専	教授	瀬名波 出 (54) <令和3年4月> 博士(工学)
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ 国際インターンシップⅠ 熱工学特論Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	屋我 実 (61) 〈令和3年4月〉 工学博士
		工学特別研究 I 工学特別研究 II 工学特別研究 III 工学特別研究 IV 工学特別演習 I 工学特別演習 II 工学特別演習 III 工学特別演習 IV 国際インターンシップ II 流体力学特論 I
専	教授	金城 寛 (62) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学特別研究 I 工学特別研究 II 工学特別研究 III 工学特別研究 IV 工学特別演習 I 工学特別演習 II 工学特別演習 III 工学特別演習 IV ソフト制御工学特論
専	教授	倉田耕治 (62) 〈令和3年4月〉 工学博士
		工学特別研究 I 工学特別研究 II 工学特別研究 III 工学特別研究 IV 工学特別演習 I 工学特別演習 II 工学特別演習 III 工学特別演習 IV 自己組織系特論
専	教授	斉藤正敏 (65) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学特別研究 I 工学特別研究 II 工学特別研究 III 工学特別研究 IV 工学特別演習 I 工学特別演習 II 工学特別演習 III 工学特別演習 IV
専	教授	柴田信一 (53) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学の倫理と社会実践 工学特別研究 I 工学特別研究 II 工学特別研究 III 工学特別研究 IV 工学特別演習 I 工学特別演習 II 工学特別演習 III 工学特別演習 IV

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	屋我 実 (61) 〈令和3年4月〉 工学博士
		工学の倫理と社会実践 工学特別研究 I 工学特別研究 II 工学特別研究 III 工学特別研究 IV 工学特別演習 I 工学特別演習 II 工学特別演習 III 工学特別演習 IV 国際インターンシップ II 流体力学特論 I
専	教授	金城 寛 (62) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学特別研究 I 工学特別研究 II 工学特別研究 III 工学特別研究 IV 工学特別演習 I 工学特別演習 II 工学特別演習 III 工学特別演習 IV ソフト制御工学特論
専	教授	倉田耕治 (62) 〈令和3年4月〉 工学博士
		工学特別研究 I 工学特別研究 II 工学特別研究 III 工学特別研究 IV 工学特別演習 I 工学特別演習 II 工学特別演習 III 工学特別演習 IV 自己組織系特論
専	教授	柴田信一 (53) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学の倫理と社会実践 工学特別研究 I 工学特別研究 II 工学特別研究 III 工学特別研究 IV 工学特別演習 I 工学特別演習 II 工学特別演習 III 工学特別演習 IV

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	屋我 実 (62) 〈令和3年4月〉 工学博士
		工学の倫理と社会実践 工学特別研究 I 工学特別研究 II 工学特別研究 III 工学特別研究 IV 工学特別演習 I 工学特別演習 II 工学特別演習 III 工学特別演習 IV 流体力学特論 I
専	教授	金城 寛 (63) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学特別研究 I 工学特別研究 II 工学特別研究 III 工学特別研究 IV 工学特別演習 I 工学特別演習 II 工学特別演習 III 工学特別演習 IV ソフト制御工学特論
専	教授	倉田耕治 (63) 〈令和3年4月〉 工学博士
		工学特別研究 I 工学特別研究 II 工学特別研究 III 工学特別研究 IV 工学特別演習 I 工学特別演習 II 工学特別演習 III 工学特別演習 IV 自己組織系特論
専	教授	柴田信一 (54) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学の倫理と社会実践 工学特別研究 I 工学特別研究 II 工学特別研究 III 工学特別研究 IV 工学特別演習 I 工学特別演習 II 工学特別演習 III 工学特別演習 IV

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	浦崎直光 (47) ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ 国際インターンシップⅠ 国際インターンシップⅡ 電気機器工学特論
専	教授	比嘉広樹 (53) ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ 医用電子工学特論
専	教授	千住智信 (57) ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		工学の倫理と社会実践 工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ パワーエレクトロニクス特論
専	教授	米須章 (59) ＜令和3年4月＞ 理学博士
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ プラズマ工学特論
専	教授	比嘉晃 (55) ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ 薄膜材料工学特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	浦崎直光 (47) ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ 国際インターンシップⅠ 国際インターンシップⅡ 電気機器工学特論
専	教授	比嘉広樹 (53) ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		工学の倫理と社会実践 工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ 医用電子工学特論
専	教授	千住智信 (57) ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ パワーエレクトロニクス特論
専	教授	米須章 (60) ＜令和3年4月＞ 理学博士
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ プラズマ工学特論
専	教授	比嘉晃 (55) ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ 薄膜材料工学特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	浦崎直光 (48) ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ 国際インターンシップⅠ 電気機器工学特論
専	教授	比嘉広樹 (54) ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		工学の倫理と社会実践 工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ 医用電子工学特論
専	教授	千住智信 (58) ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ パワーエレクトロニクス特論
専	教授	米須章 (61) ＜令和3年4月＞ 理学博士
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ プラズマ工学特論
専	教授	比嘉晃 (56) ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ 薄膜材料工学特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	長田康敬 (60) ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ ディベンダブルシステム特論
専	教授	山里将朗 (51) ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ 半導体工学特論
専	教授	藤井智史 (63) ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ 信号処理システム特論
専	教授	下里哲弘 (53) ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ 鋼構造物設計工学特論
専	教授	仲座栄三 (62) ＜令和3年4月＞ 工学博士
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ インターンシップⅠ インターンシップⅡ インターンシップⅢ インターンシップⅣ 連続体力学特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	長田康敬 (61) ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ ディベンダブルシステム特論
専	教授	山里将朗 (51) ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		工学の倫理と社会実践 工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ 半導体工学特論
専	教授	藤井智史 (63) ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		工学の倫理と社会実践 工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ 信号処理システム特論
専	教授	下里哲弘 (54) ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ 鋼構造物設計工学特論
専	教授	仲座栄三 (62) ＜令和3年4月＞ 工学博士
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ インターンシップⅠ インターンシップⅡ インターンシップⅢ インターンシップⅣ 連続体力学特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	長田康敬 (62) ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ ディベンダブルシステム特論
専	教授	山里将朗 (52) ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		工学の倫理と社会実践 工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ 半導体工学特論
専	教授	藤井智史 (64) ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		工学の倫理と社会実践 工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ 信号処理システム特論
専	教授	下里哲弘 (55) ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ 鋼構造物設計工学特論
専	教授	仲座栄三 (63) ＜令和3年4月＞ 工学博士
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ 連続体力学特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	安藤徹哉 (61) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学特別研究 I 工学特別研究 II 工学特別研究 III 工学特別研究 IV 工学特別演習 I 工学特別演習 II 工学特別演習 III 工学特別演習 IV 地域計画特論
専	教授	伊東 孝 (59) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学特別研究 I 工学特別研究 II 工学特別研究 III 工学特別研究 IV 工学特別演習 I 工学特別演習 II 工学特別演習 III 工学特別演習 IV 岩盤力学特論
専	教授	富山 潤 (50) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学特別研究 I 工学特別研究 II 工学特別研究 III 工学特別研究 IV 工学特別演習 I 工学特別演習 II 工学特別演習 III 工学特別演習 IV 数値計算力学特論
専	教授	加トロ 初ノ 純 (61) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学特別研究 I 工学特別研究 II 工学特別研究 III 工学特別研究 IV 工学特別演習 I 工学特別演習 II 工学特別演習 III 工学特別演習 IV 防災設計特論 建築構造設計実務演習 I

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	安藤徹哉 (61) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学の倫理と社会実践 工学特別研究 I 工学特別研究 II 工学特別研究 III 工学特別研究 IV 工学特別演習 I 工学特別演習 II 工学特別演習 III 工学特別演習 IV 地域計画特論
専	教授	伊東 孝 (59) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学特別研究 I 工学特別研究 II 工学特別研究 III 工学特別研究 IV 工学特別演習 I 工学特別演習 II 工学特別演習 III 工学特別演習 IV 岩盤力学特論
専	教授	富山 潤 (50) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学特別研究 I 工学特別研究 II 工学特別研究 III 工学特別研究 IV 工学特別演習 I 工学特別演習 II 工学特別演習 III 工学特別演習 IV 数値計算力学特論
専	教授	加トロ 初ノ 純 (61) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学特別研究 I 工学特別研究 II 工学特別研究 III 工学特別研究 IV 工学特別演習 I 工学特別演習 II 工学特別演習 III 工学特別演習 IV 防災設計特論 建築構造設計実務演習 I 建築設計技術者倫理

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	安藤徹哉 (62) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学特別研究 I 工学特別研究 II 工学特別研究 III 工学特別研究 IV 工学特別演習 I 工学特別演習 II 工学特別演習 III 工学特別演習 IV 地域計画特論 インターンシップ I インターンシップ II インターンシップ III インターンシップ IV 国際インターンシップ I
専	教授	伊東 孝 (60) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学の倫理と社会実践 工学特別研究 I 工学特別研究 II 工学特別研究 III 工学特別研究 IV 工学特別演習 I 工学特別演習 II 工学特別演習 III 工学特別演習 IV 岩盤力学特論
専	教授	富山 潤 (51) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学特別研究 I 工学特別研究 II 工学特別研究 III 工学特別研究 IV 工学特別演習 I 工学特別演習 II 工学特別演習 III 工学特別演習 IV 数値計算力学特論
専	教授	加トロ 初ノ 純 (62) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学特別研究 I 工学特別研究 II 工学特別研究 III 工学特別研究 IV 工学特別演習 I 工学特別演習 II 工学特別演習 III 工学特別演習 IV 防災設計特論 建築構造設計実務演習 I 建築設計技術者倫理

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	清水 肇 (60) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学特別研究 I 工学特別研究 II 工学特別研究 III 工学特別研究 IV 工学特別演習 I 工学特別演習 II 工学特別演習 III 工学特別演習 IV インターンシップ I インターンシップ II インターンシップ III インターンシップ IV コミュニティ空間計画特論
専	教授	山田義智 (58) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学特別研究 I 工学特別研究 II 工学特別研究 III 工学特別研究 IV 工学特別演習 I 工学特別演習 II 工学特別演習 III 工学特別演習 IV 建設材料学特論 建築材料計画実務特論
専	教授	岡崎威生 (56) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学特別研究 I 工学特別研究 II 工学特別研究 III 工学特別研究 IV 工学特別演習 I 工学特別演習 II 工学特別演習 III 工学特別演習 IV インターンシップ I インターンシップ II インターンシップ III インターンシップ IV 確率モデル特論 サービス工学特論
専	教授	遠藤聡志 (56) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学特別研究 I 工学特別研究 II 工学特別研究 III 工学特別研究 IV 工学特別演習 I 工学特別演習 II 工学特別演習 III 工学特別演習 IV 人工知能特論 人工社会システム特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	清水 肇 (60) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学の倫理と社会実践 工学特別研究 I 工学特別研究 II 工学特別研究 III 工学特別研究 IV 工学特別演習 I 工学特別演習 II 工学特別演習 III 工学特別演習 IV インターンシップ I インターンシップ II インターンシップ III インターンシップ IV コミュニティ空間計画特論
専	教授	山田義智 (58) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学特別研究 I 工学特別研究 II 工学特別研究 III 工学特別研究 IV 工学特別演習 I 工学特別演習 II 工学特別演習 III 工学特別演習 IV 建設材料学特論 建築材料計画実務特論
専	教授	岡崎威生 (56) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学特別研究 I 工学特別研究 II 工学特別研究 III 工学特別研究 IV 工学特別演習 I 工学特別演習 II 工学特別演習 III 工学特別演習 IV インターンシップ I インターンシップ II インターンシップ III インターンシップ IV 確率モデル特論 サービス工学特論
専	教授	遠藤聡志 (56) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学特別研究 I 工学特別研究 II 工学特別研究 III 工学特別研究 IV 工学特別演習 I 工学特別演習 II 工学特別演習 III 工学特別演習 IV 人工知能特論 人工社会システム特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	清水 肇 (61) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		建築設計技術者倫理 工学特別研究 I 工学特別研究 II 工学特別研究 III 工学特別研究 IV 工学特別演習 I 工学特別演習 II 工学特別演習 III 工学特別演習 IV コミュニティ空間計画特論
専	教授	山田義智 (59) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学の倫理と社会実践 建築設計技術者倫理 工学特別研究 I 工学特別研究 II 工学特別研究 III 工学特別研究 IV 工学特別演習 I 工学特別演習 II 工学特別演習 III 工学特別演習 IV 建設材料学特論 建築材料計画実務特論
専	教授	岡崎威生 (57) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学特別研究 I 工学特別研究 II 工学特別研究 III 工学特別研究 IV 工学特別演習 I 工学特別演習 II 工学特別演習 III 工学特別演習 IV サービス工学特論
専	教授	遠藤聡志 (57) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学特別研究 I 工学特別研究 II 工学特別研究 III 工学特別研究 IV 工学特別演習 I 工学特別演習 II 工学特別演習 III 工学特別演習 IV 人工知能特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	山田孝治 (55) ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ 知能ロボット特論 人間拡張工学特論
専	教授	名嘉村盛和 (55) ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ 実践演習Ⅰ 実践演習Ⅱ 実践演習Ⅲ プロジェクトマネジメント演習 アルゴリズム特論 並列処理特論
専	教授	和田知久 (61) ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		工学の倫理と社会実践 工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ ワイヤレスシステム特論
専	准教授	末吉敏恭 (52) ＜令和3年4月＞ 博士(情報科学)
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ 塑性力学特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	山田孝治 (55) ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ 知能ロボット特論 人間拡張工学特論
専	教授	名嘉村盛和 (55) ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ 実践演習Ⅰ 実践演習Ⅱ 実践演習Ⅲ プロジェクトマネジメント演習 アルゴリズム特論 並列処理特論
専	教授	和田知久 (61) ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		工学の倫理と社会実践 工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ ワイヤレスシステム特論
専	准教授	末吉敏恭 (52) ＜令和3年4月＞ 博士(情報科学)
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ 塑性力学特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	山田孝治 (56) ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ 人間拡張工学特論
専	教授	名嘉村盛和 (56) ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ 実践演習Ⅰ 実践演習Ⅱ プロジェクトマネジメント演習 並列処理特論
専	教授	和田知久 (62) ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		工学の倫理と社会実践 工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ ワイヤレスシステム特論
専	教授	玉城絵美 (38) ＜令和3年4月＞ 博士(学際情報学)
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 実践演習Ⅲ
専	准教授	末吉敏恭 (53) ＜令和3年4月＞ 博士(情報科学)
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ 塑性力学特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	藤川正毅 (42) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ インターンシップⅣ 固体力学特論
専	准教授	神田康行 (40) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ 材料加工学特論
専	准教授	近藤了嗣 (46) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ 機械基礎工学特論Ⅰ 機械基礎工学特論Ⅱ
専	准教授	天久和正 (49) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ 流体力学特論Ⅱ 流体機械学特論
専	准教授	照屋 功 (63) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		インターンシップⅢ 乱流計測学特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	藤川正毅 (42) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ 固体力学特論
専	准教授	神田康行 (40) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ 材料加工学特論
専	准教授	近藤了嗣 (46) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ 機械基礎工学特論Ⅰ 機械基礎工学特論Ⅱ
専	准教授	天久和正 (49) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ 流体力学特論Ⅱ 流体機械学特論
専	准教授	石川正明 (48) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ
専	准教授	照屋 功 (63) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		インターンシップⅢ インターンシップⅣ 乱流計測学特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	藤川正毅 (43) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ 固体力学特論
専	准教授	神田康行 (41) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ 材料加工学特論
専	准教授	近藤了嗣 (47) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ 機械基礎工学特論Ⅰ 機械基礎工学特論Ⅱ
専	准教授	天久和正 (50) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ 流体機械学特論
専	准教授	石川正明 (49) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ 流体力学特論Ⅱ
専	准教授	照屋 功 (64) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		乱流計測学特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	山本健一 (52) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ 磁気物性工学特論
専	准教授	原田繁実 (49) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ 電力システム解析特論
専	准教授	半場 滋 (52) 〈令和3年4月〉 博士(学術)
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ インターンシップⅠ インターンシップⅡ インターンシップⅢ インターンシップⅣ 非線形制御特論
専	准教授	長堂 勤 (57) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ 現代制御特論
専	准教授	金城光永 (47) 〈令和3年4月〉 博士(情報科学)
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ インターンシップⅠ インターンシップⅡ インターンシップⅢ インターンシップⅣ 量子計算機工学特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	山本健一 (52) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ 磁気物性工学特論
専	准教授	原田繁実 (49) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ 電力システム解析特論
専	准教授	半場 滋 (52) 〈令和3年4月〉 博士(学術)
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ 非線形制御特論
専	准教授	長堂 勤 (57) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ 現代制御特論 インターンシップⅠ インターンシップⅡ インターンシップⅢ インターンシップⅣ
専	准教授	金城光永 (47) 〈令和3年4月〉 博士(情報科学)
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ 量子計算機工学特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	山本健一 (53) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ 磁気物性工学特論
専	准教授	原田繁実 (50) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ 電力システム解析特論
専	准教授	半場 滋 (53) 〈令和3年4月〉 博士(学術)
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ 非線形制御特論
専	准教授	長堂 勤 (58) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ 現代制御特論
専	准教授	金城光永 (48) 〈令和3年4月〉 博士(情報科学)
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ 量子計算機工学特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	島袋勝彦 (55) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学の倫理と社会実践 VLSIシステム設計特論
専	准教授	齋藤将人 (47) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学特別研究 I 工学特別研究 II 工学特別研究 III 工学特別研究 IV 工学特別演習 I 工学特別演習 II 工学特別演習 III 工学特別演習 IV 国際インターンシップ I 国際インターンシップ II 無線通信システム特論
専	准教授	野崎真也 (45) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学特別研究 I 工学特別研究 II 工学特別研究 III 工学特別研究 IV 工学特別演習 I 工学特別演習 II 工学特別演習 III 工学特別演習 IV 画像処理工学特論
専	准教授	景山 弘 (51) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学特別研究 I 工学特別研究 II 工学特別研究 III 工学特別研究 IV 工学特別演習 I 工学特別演習 II 工学特別演習 III 工学特別演習 IV 有機エレクトロニクス材料工学特論
専	准教授	松原 仁 (44) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学特別研究 I 工学特別研究 II 工学特別研究 III 工学特別研究 IV 工学特別演習 I 工学特別演習 II 工学特別演習 III 工学特別演習 IV 地盤環境工学特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	島袋勝彦 (55) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		VLSIシステム設計特論
専	准教授	齋藤将人 (47) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学特別研究 I 工学特別研究 II 工学特別研究 III 工学特別研究 IV 工学特別演習 I 工学特別演習 II 工学特別演習 III 工学特別演習 IV 国際インターンシップ I 国際インターンシップ II 無線通信システム特論 インターンシップ I インターンシップ II インターンシップ III インターンシップ IV
専	准教授	野崎真也 (45) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学特別研究 I 工学特別研究 II 工学特別研究 III 工学特別研究 IV 工学特別演習 I 工学特別演習 II 工学特別演習 III 工学特別演習 IV 画像処理工学特論
専	准教授	景山 弘 (51) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学特別研究 I 工学特別研究 II 工学特別研究 III 工学特別研究 IV 工学特別演習 I 工学特別演習 II 工学特別演習 III 工学特別演習 IV 有機エレクトロニクス材料工学特論
専	准教授	松原 仁 (44) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学特別研究 I 工学特別研究 II 工学特別研究 III 工学特別研究 IV 工学特別演習 I 工学特別演習 II 工学特別演習 III 工学特別演習 IV 地盤環境工学特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	島袋勝彦 (56) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		VLSIシステム設計特論
専	准教授	齋藤将人 (48) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学特別研究 I 工学特別研究 II 工学特別研究 III 工学特別研究 IV 工学特別演習 I 工学特別演習 II 工学特別演習 III 工学特別演習 IV 無線通信システム特論
専	准教授	野崎真也 (46) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学特別研究 I 工学特別研究 II 工学特別研究 III 工学特別研究 IV 工学特別演習 I 工学特別演習 II 工学特別演習 III 工学特別演習 IV 画像処理工学特論
専	准教授	景山 弘 (52) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学特別研究 I 工学特別研究 II 工学特別研究 III 工学特別研究 IV 工学特別演習 I 工学特別演習 II 工学特別演習 III 工学特別演習 IV 有機エレクトロニクス材料工学特論 国際インターンシップ I インターンシップ I インターンシップ II インターンシップ III インターンシップ IV
専	准教授	松原 仁 (45) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学特別研究 I 工学特別研究 II 工学特別研究 III 工学特別研究 IV 工学特別演習 I 工学特別演習 II 工学特別演習 III 工学特別演習 IV 地盤環境工学特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	神谷大介 (45) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ 環境防災計画学特論
専	准教授	福田朝生 (41) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ 国際インターンシップⅠ 国際インターンシップⅡ インターンシップⅠ インターンシップⅡ インターンシップⅢ インターンシップⅣ 河川工学特論
専	准教授	入江 徹 (46) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ 国際インターンシップⅠ 国際インターンシップⅡ 建築設計意匠特論 建築設計スタジオⅠ 建築設計スタジオⅡ 建築設計実務演習Ⅰ 建築設計実務演習Ⅱ 建築設計実務演習Ⅲ
専	准教授	小野(宮道) 尋子 (48) 〈令和3年4月〉 博士(社会工学)
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ インターンシップⅠ インターンシップⅡ インターンシップⅢ インターンシップⅣ 都市計画特論 建築法令制度実務特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	神谷大介 (45) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ 環境防災計画学特論
専	准教授	福田朝生 (41) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ 河川工学特論
専	准教授	入江 徹 (46) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ 国際インターンシップⅠ 国際インターンシップⅡ 建築設計意匠特論 建築設計スタジオⅠ 建築設計スタジオⅡ 建築設計実務演習Ⅰ 建築設計実務演習Ⅱ 建築設計実務演習Ⅲ
専	准教授	小野(宮道) 尋子 (48) 〈令和3年4月〉 博士(社会工学)
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ インターンシップⅠ インターンシップⅡ インターンシップⅢ インターンシップⅣ 都市計画特論 建築法令制度実務特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	神谷大介 (46) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ 環境防災計画学特論
専	准教授	福田朝生 (42) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ 河川工学特論 国際インターンシップⅡ
専	准教授	入江 徹 (47) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		建築設計技術者倫理 工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ 国際インターンシップⅠ 建築設計意匠特論 建築設計スタジオⅠ 建築設計スタジオⅡ 建築設計実務演習Ⅰ 建築設計実務演習Ⅱ 建築設計実務演習Ⅲ
専	教授	小野(宮道) 尋子 (49) 〈令和3年4月〉 博士(社会工学)
		建築設計技術者倫理 工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ 都市計画特論 建築法令制度実務特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	中田幸造 (44) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学特別研究 I 工学特別研究 II 工学特別研究 III 工学特別研究 IV 工学特別演習 I 工学特別演習 II 工学特別演習 III 工学特別演習 IV 構造解析学特論 建築構造設計実務演習 II 建築構造設計実務特論
専	准教授	渡嘉敷 健 (60) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学特別研究 I 工学特別研究 II 工学特別研究 III 工学特別研究 IV 工学特別演習 I 工学特別演習 II 工学特別演習 III 工学特別演習 IV 建築設計技術者倫理 環境騒音特論 建築設備設計実務演習
専	准教授	崎原康平 (41) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学特別研究 I 工学特別研究 II 工学特別研究 III 工学特別研究 IV 工学特別演習 I 工学特別演習 II 工学特別演習 III 工学特別演習 IV 建設データマイニング特論
専	准教授	河野真治 (61) 〈令和3年4月〉 工学博士
		ソフトウェア工学特論
専	准教授	姜 東植 (56) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学特別研究 I 工学特別研究 II 工学特別研究 III 工学特別研究 IV 工学特別演習 I 工学特別演習 II 工学特別演習 III 工学特別演習 IV 国際インターンシップ I 国際インターンシップ II 知能情報処理特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	中田幸造 (44) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学特別研究 I 工学特別研究 II 工学特別研究 III 工学特別研究 IV 工学特別演習 I 工学特別演習 II 工学特別演習 III 工学特別演習 IV 構造解析学特論 建築構造設計実務演習 II 建築構造設計実務特論
専	准教授	渡嘉敷 健 (60) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学特別研究 I 工学特別研究 II 工学特別研究 III 工学特別研究 IV 工学特別演習 I 工学特別演習 II 工学特別演習 III 工学特別演習 IV 環境騒音特論 建築設備設計実務演習
専	准教授	崎原康平 (41) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学特別研究 I 工学特別研究 II 工学特別研究 III 工学特別研究 IV 工学特別演習 I 工学特別演習 II 工学特別演習 III 工学特別演習 IV 建設データマイニング特論
専	准教授	河野真治 (61) 〈令和3年4月〉 工学博士
		ソフトウェア工学特論
専	准教授	姜 東植 (56) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学特別研究 I 工学特別研究 II 工学特別研究 III 工学特別研究 IV 工学特別演習 I 工学特別演習 II 工学特別演習 III 工学特別演習 IV 国際インターンシップ I 国際インターンシップ II 知能情報処理特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	中田幸造 (45) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		建築設計技術者倫理 工学特別研究 I 工学特別研究 II 工学特別研究 III 工学特別研究 IV 工学特別演習 I 工学特別演習 II 工学特別演習 III 工学特別演習 IV 構造解析学特論 建築構造設計実務演習 II 建築構造設計実務特論
専	准教授	渡嘉敷 健 (61) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		建築設計技術者倫理 工学特別研究 I 工学特別研究 II 工学特別研究 III 工学特別研究 IV 工学特別演習 I 工学特別演習 II 工学特別演習 III 工学特別演習 IV インターンシップ I インターンシップ II インターンシップ III インターンシップ IV 環境騒音特論 建築設備設計実務演習
専	准教授	崎原康平 (42) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		建築設計技術者倫理 工学特別研究 I 工学特別研究 II 工学特別研究 III 工学特別研究 IV 工学特別演習 I 工学特別演習 II 工学特別演習 III 工学特別演習 IV 建設データマイニング特論
専	准教授	河野真治 (62) 〈令和3年4月〉 工学博士
		ソフトウェア工学特論
専	准教授	姜 東植 (57) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学特別研究 I 工学特別研究 II 工学特別研究 III 工学特別研究 IV 工学特別演習 I 工学特別演習 II 工学特別演習 III 工学特別演習 IV 国際インターンシップ I 知能情報処理特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	長田智和 (46) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ 情報ネットワーク特論
専	准教授	當間愛晃 (45) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学の倫理と社会実践 工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ データマイニング特論
専	准教授	長山 格 (54) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ マルチメディア情報処理特論
専	准教授	赤嶺有平 (43) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ UI/UX特論
専	助教	水口 尚 (42) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		移動現象特論
専	助教	安田啓太 (36) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		多相多成分系の物理化学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	長田智和 (46) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ 情報ネットワーク特論
専	准教授	當間愛晃 (45) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学の倫理と社会実践 工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ データマイニング特論
専	准教授	長山 格 (54) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ マルチメディア情報処理特論
専	准教授	赤嶺有平 (43) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ UI/UX特論
専	助教	水口 尚 (42) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		移動現象特論
専	助教	安田啓太 (36) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		多相多成分系の物理化学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	長田智和 (46) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学の倫理と社会実践 工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ インターンシップⅠ インターンシップⅡ インターンシップⅢ インターンシップⅣ データマイニング特論
専	准教授	長山 格 (55) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ マルチメディア情報処理特論
専	准教授	赤嶺有平 (44) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ UI/UX特論
専	准教授	水口 尚 (43) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ 移動現象特論
専	助教	安田啓太 (37) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		多相多成分系の物理化学 インターンシップⅢ インターンシップⅣ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	與那篤史 (38) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		電力エネルギー変換工学特論
専	助教	下地伸明 (45) 〈令和3年4月〉 博士(理学)
		相対論的電磁気学特論
専	助教	宮城加津也 (43) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		光デバイス計測工学特論
専	助教	岡田竜弥 (39) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		真空工学特論
専	助教	長名保範 (42) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		再構成型アーキテクチャ特論
専	助教	入部綱清 (41) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		インターンシップⅠ インターンシップⅡ インターンシップⅢ インターンシップⅣ 流体数値解析特論
専	助教	田井政行 (36) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		鋼構造物診断工学特論
専	助教	須田裕哉 (35) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		コンクリートの材料科学特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	與那篤史 (38) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		電力エネルギー変換工学特論
専	助教	下地伸明 (45) 〈令和3年4月〉 博士(理学)
		相対論的電磁気学特論
専	助教	宮城加津也 (43) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		光デバイス計測工学特論
専	助教	岡田竜弥 (39) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		真空工学特論
専	助教	長名保範 (42) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		再構成型アーキテクチャ特論
専	助教	入部綱清 (41) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		流体数値解析特論
専	准教授	田井政行 (36) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		鋼構造物診断工学特論
専	准教授	須田裕哉 (35) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		コンクリートの材料科学特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	與那篤史 (39) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ 電力エネルギー変換工学特論 インターンシップⅠ インターンシップⅡ インターンシップⅢ インターンシップⅣ
専	助教	下地伸明 (46) 〈令和3年4月〉 博士(理学)
		相対論的電磁気学特論
専	助教	宮城加津也 (44) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		光デバイス計測工学特論
専	助教	岡田竜弥 (40) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		真空工学特論
専	助教	長名保範 (43) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		再構成型アーキテクチャ特論
専	助教	入部綱清 (42) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		流体数値解析特論
専	准教授	田井政行 (37) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		鋼構造物診断工学特論
専	准教授	須田裕哉 (36) 〈令和3年4月〉 博士(工学)
		コンクリートの材料科学特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
								金城春野 (36) ＜令和4年4月＞ 博士(学術)
								建築設計技術者倫理
								仲松 亮 (48) ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
								インターンシップⅠ インターンシップⅡ インターンシップⅢ インターンシップⅣ 建築設計技術者倫理
専	助教	國田 樹 (38) ＜令和3年4月＞ 博士(システム情報科学)	専	助教	國田 樹 (38) ＜令和3年4月＞ 博士(システム情報科学)	専	准教授	國田 樹 (39) ＜令和3年4月＞ 博士(システム情報科学)
		生体情報処理特論			生体情報処理特論			工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ 工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ 生体情報処理特論
								仲地孝之 (55) ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
								工学特別演習Ⅰ 工学特別演習Ⅱ 工学特別演習Ⅲ 工学特別演習Ⅳ 工学特別研究Ⅰ 工学特別研究Ⅱ 工学特別研究Ⅲ 工学特別研究Ⅳ
兼任	講師	舟木慶一 (57) ＜令和3年4月＞ 博士(工学)	兼任	講師	舟木慶一 (57) ＜令和3年4月＞ 博士(工学)	兼任	講師	舟木慶一 (58) ＜令和3年4月＞ 博士(工学)
		情報通信論			情報通信論			情報通信論

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

--

【令和2年度】

--

【令和3年度】

<ul style="list-style-type: none">・令和3年3月齊藤正敏教授定年退職。・令和2年10月石川正明准教授就任。・令和2年10月中田准教授昇任により、教授へ職名変更。・令和3年4月田井政行助教昇任により、准教授へ職名変更。・令和3年4月須田裕哉助教昇任により、准教授へ職名変更。

【令和4年度】

<ul style="list-style-type: none">・令和4年3月眞壁朝敏教授定年退職。・令和3年4月玉城絵美教授就任。5月26日研究指導及び授業担当の資格審査済み。・令和3年8月小野尋子准教授昇任により、教授へ職名変更。・令和3年8月長田智和准教授逝去。・令和3年10月水口尚助教昇任により、准教授へ職名変更。・令和4年1月與那篤史助教昇任により、准教授へ職名変更。・令和4年1月國田樹助教昇任により、准教授へ職名変更。

- ※
(注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、
大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
・ 不要な年度（令和2年度開設であれば令和元年度）の表は削除せず、斜線を入れてください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時における 設置基準上の必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数
14 名	10 名	0 名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計（A）	助手（A'）	教授	准教授	講師	助教	計（B）	助手（B'）
31	34	0	11	76	0	32	37	0	8	77	0
(31)	(34)	(0)	(11)	(76)	(0)						
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	/			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	/		
62	11	3				66	8	3			
(62)	(11)	(3)	/						/		
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計（C）	助手（C'）	教授	准教授	講師	助教	計（D）	助手（D'）
31	37	0	7	75	0	31	37	0	7	75	0
[0]	[3]	[0]	[Δ4]	[Δ1]	[0]	[0]	[3]	[0]	[Δ4]	[Δ1]	[0]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	/			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	/		
66	7	2				66	7	2			
[4]	[Δ4]	[Δ1]	/			[4]	[Δ4]	[Δ1]	/		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段階書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) 一④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{75}{76} = \boxed{98.68} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) 一⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{0}{77} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) 一⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由					
		該当なし										
合計（D）						後任補充状況の集計（E）						
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
1	准教授	長田 智和	R3.8	必修	工学特別研究Ⅰ	①	R3.8逝去のため辞任（R3）						
				必修	工学特別研究Ⅱ	①							
				必修	工学特別研究Ⅲ	①							
				必修	工学特別研究Ⅳ	①							
				必修	工学特別演習Ⅰ	①							
				必修	工学特別演習Ⅱ	①							
				必修	工学特別演習Ⅲ	①							
				必修	工学特別演習Ⅳ	①							
				選択	情報ネットワーク特論	③							
合計（F）						後任補充状況の集計（G）							
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）				
1	人	必修	8	科目	必修	8	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	1	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	1	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	9	科目	計	8	科目	計	0	科目	計	1	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
1 人	必修	8 科目	必修	8 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	1 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	1 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	9 科目	計	8 科目	計	0 科目	計	1 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{1}{76} = \boxed{1.31} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和3年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

人

(注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
1	教授	斉藤 正敏	必修	工学特別研究 I	①	R3. 3. 31付け65歳で定年退職 (R3)		
			必修	工学特別研究 II	①			
			必修	工学特別研究 III	①			
			必修	工学特別研究 IV	①			
			必修	工学特別演習 I	①			
			必修	工学特別演習 II	①			
			必修	工学特別演習 III	①			
			必修	工学特別演習 IV	①			
2	教授	真壁 朝敏	必修	工学特別研究 I	①	R4. 3. 31付け65歳で定年退職 (R4)		
			必修	工学特別研究 II	①			
			必修	工学特別研究 III	①			
			必修	工学特別研究 IV	①			
			必修	工学特別演習 I	①			
			必修	工学特別演習 II	①			
			必修	工学特別演習 III	①			
			必修	工学特別演習 IV	①			
選択	材料力学特論	③						
合計			後任補充状況の集計					
辞任した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
2 人	必修	16 科目	必修	16 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	1 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	1 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	17 科目	計	16 科目	計	0 科目	計	1 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**についてに記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

定年退職者2名が担当していた必修科目については、現専任教員間で担当しているため、学生の履修等への影響は無い。選択科目については、後任を調整中である。学生へは時間割配当表およびシラバスで周知しており、現在のところ問い合わせは来ていない。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (令和2年)	該当なし	履行中	
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和3年)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<理工学研究科 工学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
① 修了要件単位数	① 変更なし
② 施設・設備	② 変更なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

【琉球大学工学部及び大学院理工学研究科（工学系）各種委員会等規程（抜粋）】

（設置）

第1条 琉球大学工学部及び大学院理工学研究科（工学系）（以下「本学部等」という。）に、本学部等の管理運営を円滑に行うため、別表に掲げる委員会及び会議（以下「各種委員会」という。）を置く。

（※ここでは委員会名称のみ記載）

○企画戦略会議 ○専攻主任等会議 ○学部・大学院教育委員会 ○研究推進委員会
 ○国際交流委員会 ○学部入試委員会 ○情報システム運用委員会 ○社会連携・キャリア支援委員会
 ○施設・環境・交通委員会 ○特別プログラム（工学系）運営委員会 ○広報委員会
 ○選挙管理委員会 ○技術部管理運営委員会 ○附属工作工場運営委員会 ○安全衛生委員会
 ○業績評価委員会

委員は委員長を含めて8名。

（委員長）教育研究評議会評議員（学部長を除く。）

（その他の委員）各コースから選出された教授又は准教授各1人（ただし、委員の半数までは准教授をもって充てることができる。）

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

令和3年度は12回開催（構成員8名）。

令和4年度は1回開催（4/27（水）開催。委員7名参加）。

c 委員会の審議事項等

- (1) 教育課程の編成及び改善に関する事。
- (2) 教育に係る授業科目の提供等に関する事。
- (3) シラバスに関する事。
- (4) 学生による授業評価に関する事。
- (5) 共通教育等に係る授業科目の提供等に関する事。
- (6) ファカルティ・ディベロップメント（FD）活動に関する事。
- (7) J A B E Eに関する事。
- (8) 教員養成に関する事。
- (9) その他必要な事項。

② 実施状況

a 実施内容

- ①改修工事等に係る薬品等の取り扱いに関するFD
- ②研究戦略データブック2021の報告及び科研費申請時期の前倒し等について
- ③ハラスメント対策について
- ④工学部2017年度入学者の選抜区分別成績追跡調査等分析結果報告について

b 実施方法

組織的な取組の一環として、教授会（構成員84名）開催時に実施している。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ①改修工事等に係る薬品等の取り扱いに関するFD講習会
内容：研究基盤センター技術専門職員による講演
令和3年6月23日（水）開催。
- ②研究戦略データブック2021の報告及び科研費申請時期の前倒し等について
内容：小暮一啓理事・副学長/山平寿智学長補佐/島袋真澄URAによる講演
令和3年7月28日（水）開催。
- ③ハラスメント対策について
内容：伊藤義徳ハラスメント相談支援センター副センター長による講演
令和3年7月28日（水）開催。
- ④工学部2017年度入学者の選抜区分別成績追跡調査等分析結果報告について
内容：グローバル教育支援機構アドミッション部門UEA田崎優里特命助教による講演
令和4年1月19日（水）開催。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ハラスメント対策のFD講習をうけて学生への対応改善につながった。
- ・入学者の選抜区分別成績追跡調査の結果をうけて選抜区分ごとに成績分布に特徴があることが確認できたので、対策を講じることができた。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前学期末に実施予定

b 教員や学生への公開状況、方法等

ウェブサイトへ掲載予定

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

「該当なし」

① 体制

a 委員会の設置状況

（5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。）

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

- a 審議した内容

- b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

- c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

社会が工学系に求めている学术界の高度な研究人材と産業界が求める先端的な実務人材の量的拡大と質的充実に高度人材養成のために、これまでの4専攻を1専攻として令和3年4月に予定どおり改組を行った。1専攻での入試も大きな問題はなく、定員を満たしている。

② 自己点検・評価報告書

- a 公表（予定）時期
 - ・令和5年6月までに公表予定

- b 公表方法
 - ・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

- (専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。)
- ・令和5年度に認証評価機関（独立行政法人大学改革支援・学位授与機構）の評価を受ける予定。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和4年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《 aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ）]

《 aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。